

令和3年度夏季研修(病弱教育①)



7月27日(火)に、長崎純心大学の飛永高秀先生を講師に招いて、「依存的自立を踏まえた自立生活・学校生活支援について」の講義をしていただきました。

「自立」という言葉を聞くと、経済的な自立をイメージしがちですが、「自立」とは周りの支えがあって成り立つもので、どのような人でもいろいろな社会資源(支援)を活用して生活する「依存的自立」の上に成り立っており、私たち自身も気付かないうちに、いろいろな人やサービスに支えられて生活していることを実感しました。

このように「自立」の捉え方を考え直すこと、そして本校児童生徒をはじめとする生きづらさや生活のしづらさを感じている人は特に、依存先をたくさん見つける必要があることを学びました。

今後、福祉や医療との連携をさらに強めていきたいと思います。